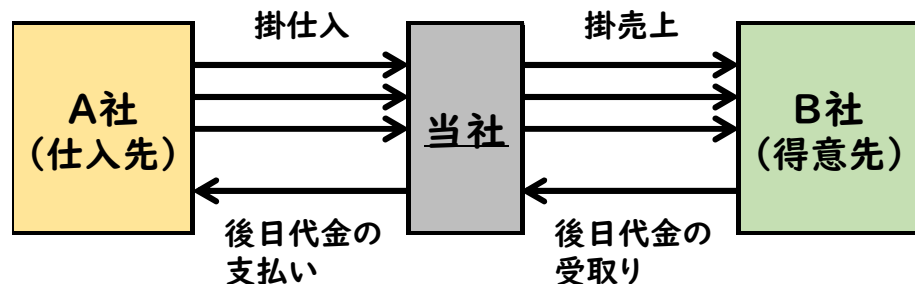


掛取引（売掛金と買掛金）

- 商品売買において、代金は後日まとめて支払う約束にすることを（ ）という。一般には「ツケ払い」と言われる。
- また、頻繁に商品を仕入れる取引先のことを（ ）といい、頻繁に商品を売り上げる取引先のことを（ ）という。
- 掛取引は、このような「頻繁に」取引を行う相手との（ ）がある上で成り立っており、代金の支払いはその都度行わずに、支払期日（翌月末払いなど）を定めてまとめて決済を行う。
- 《商品売買の掛取引の流れ》



- 掛取引で商品を仕入れた時の「後日代金を支払う義務」については（ ）という負債の勘定科目を使用する。
- 掛取引で商品を売り上げた時の「後日代金を受け取れる権利」については（ ）という資産の勘定科目を使用する。

仕訳問題

- 仕入先 A 社から商品 1,000 円を仕入れ、代金は掛けとした。
- A 社に対する掛代金 1,000 円を現金で支払った。
- 得意先 B 社へ商品 1,500 円を売上げ、代金は掛けとした。
- B 社から掛代金 1,500 円を現金で回収した。

- () ()
- () ()
- () ()
- () ()